

橋爪 健著 詩集

合掌の春

處女詩集
定價一圓二十錢
大正十一年刊

午前の愛撫

第二詩集
定價一圓八十錢
大正十二年刊

桃色の季節

薔薇詩集
第一卷
近刊

著者 日記

これらの詩集は私の甘酸ゆい抒情詩時代の紀念標である。忘れがたい學生々活の唇氣樓である。『合掌の春』を一高時代の夢のみの王國とすれば、『午前の愛撫』は大學時代の多少理念を混へた世界である。『桃色の季節』は少女詩集ともいふべきもので、私の裡のフラウエン・ゼーン(女性心情)が歌ひ出た遙かなる思慕の聲である。